

議員全員協議会

日 時	令和3年5月17日(月) 閉会中	8時54分 開会 9時54分 閉会
場 所	相良庁舎4階 大会議室	
出席議員	議長 16番 中野康子 副議長 15番 大井俊彦	
	1番 鈴木長馬	2番 濱崎一輝 3番 原口康之
	4番 吉田富士雄	5番 平口朋彦 6番 藤野 守
	8番 植田博巳	9番 村田博英 10番 良知義廣
	11番 澤田隆弘	12番 鈴木千津子 13番 太田佳晴
	14番 大石和央	
欠席議員		
傍聴議員		
事務局	局長 原口 亨 次長 本杉裕之 書記 大塚康裕 書記 本杉周平	
説明員	市長、副市長、教育長、建設理事、総務部長、企画政策部長、 政策監、市民生活部長、財政課長、産業経済部長、商工観光課長、 健康推進部長、健康推進課長	

署名 議長

開会の宣告

○議長（中野康子君）

それではただいまより、議員全員協議会を始めます。

2 市長報告

○議長（中野康子君）

まず最初に、市長報告からお願いをいたします。

市長。

○市長（杉本基久雄君）

皆さんおはようございます。

ただいまも、議長から報告がございましたけれども、名波議員のご不幸に際しまして、心から哀悼の意を表します。謹んでご冥福をお祈りをいたします。

この件につきましては、昨日、早朝に牧之原警察署の戸塚所長さんからも、非常に残念だというようなことで、哀悼の言葉がございましたので、報告をさせていただきます。

それでは、本日私からは、皆さんのところにお手元に要旨があると思いますが、3点、令和3年5月1日の牧之原市竜巻災害の関係につきまして、そして2点目として、新型コロナウイルス感染症の静岡県警戒レベル引上関連について、そして新型コロナウイルスワクチンの接種関連というような、この3点につきまして、私のほうから報告をさせていただきます。

なお、この中で、補正予算の関係につきましては担当部から、そして海水浴の関係につきましては、この感染症レベル引上げということに関しまして、追加の補足の説明がございますので、この2点については担当部から説明をさせていただきます。最後に一括で私のほうで質疑をお願いするという形をお願いをしたいと思います。

それではまず、竜巻災害でございますが、資料1の竜巻等災害要望活動の資料というものがございますので、そちらも見ながらお聞きいただければというふうに思います。

令和3年5月1日、市内で発生をいたしました、過去に前例のない竜巻災害の気象災害によりまして、住家、事業所、農業施設等に甚大な被害を生じました。市といたしましても、全力を挙げて災害対応等復旧支援に取り組んでいるところでございます。

この日、市内4地区で、危機管理課のほうからも報告があったと思いますが、布引原、勝間田、坂部、須々木の4地区で、ほぼ同時刻に発生した竜巻等によりまして、140棟もの建物が損壊いたしました。倒木や電柱の倒壊、農業用施設につきましても35棟、1.2ヘクタールに及ぶビニールハウス等が被災をしたものでございます。

また、茶園への飛来物による被害が15.5ヘクタールに及びまして、防霜ファンの損壊、停電に

よる製茶工場の停止もございまして、被災した茶園や茶工場では大きな被害と影響を受けております。

さらに、竜巻等によって生じた災害廃棄物の処理には多額の費用を要することなど、生活や生産活動への復旧に向け、被災された皆さんの負担軽減が大きな課題となっている状況であります。

現在、地域の皆さん、企業、災害ボランティア、そして市が連携をいたしまして復旧に取り組んでいるところではありますが、一日も早い復旧に向けまして、国、県に対して災害廃棄物の処理、被災者に対する生活支援、農業施設災害への支援を緊急要望したところでございます。

こちらにつきましては、資料2が農林水産省、そして資料3が環境省、そして資料4が静岡県となっておりますので、後ほどごらんをいただきたいというふうに思います。

そして、静岡県につきましては、14日に行いましたけれども、川勝知事、そして危機管理部、くらし・環境部、経済産業部農林水産担当、そして健康福祉部、そして静岡県議会議長を訪問して、要望させていただいたところでございます。

市議会の皆さんからも復興支援の要望書をいただいている中でございますので、この緊急要望活動につきましては、中野議長、大井副議長にご参加をいただきまして、市議会のお力添えをいただきましたことに、市議会のご協力に感謝を申し上げます。

この要望活動で農林水産省の宮内副大臣には、ビニールハウスの再建や倒壊した防霜ファンの復旧などに関わる災害支援認定を要望したほか、副大臣から、今回の被害は個々の被害は大きいものの、竜巻災害は台風や地震災害に比べて区域が限定的なことから、認定の回答には至りませんでしたけれども、農林水産担当者が、例えば産地パワーアップ事業、あるいは防霜ファンの新設事業等の既存の事業を活用できる旨のいろいろな制度のご提案をいただけるといふ旨の回答をいただいたところでございます。

そして、環境省堀内副大臣には、今回の竜巻により発生した膨大な災害廃棄物について、市が実施する処理事業を災害廃棄物処理事業費補助金の対象とするよう要望をいたしました。

今回の竜巻が要望の補助金に該当する旨の回答をいただきまして、既に計画策定や事業申請などの事務について、ご支援をいただいているところでございます。

県知事への要望につきましては、国庫補助金の活用についての県の支援、そして国庫補助対象外となる事業について県の支援を要望いたしまして、知事からは県費での支援を含めた前向きな回答をいただいたところでございます。

特にこの県費での対応というのは、生活支援の関係でございまして、例えば今の現制度でいいますと、いわゆる今回の大規模損壊に該当する以外は、ほとんど該当しなくなってしまうわけですが、それ以下についても拡充をしていただくように、40%未満の被災率であっても助成していただくような措置を講じていただきたいという要望をさせていただいたところでございます。

県からは、今回の県の補正予算には間に合わないが、そこを拡充する旨の対策を取るという返事が後日といいますか、要望から帰ってきた以降、知事からの返事があったということでございますので、ご報告を申し上げます。

そして、その後伺いました県議会でも山田議長、良知副議長から、同様に心強い言葉をいただいたところでございます。

そして、次に資料5、令和3年度牧之原市一般会計補正予算（第2号）の概要につきまして、担当からよろしいですか。

それでは、市といたしましては、竜巻等の災害に対しまして、緊急に措置すべき経費について、今年度2回目の補正を編成いたしまして、本日17日に専決処分を行いまして対応を進めてまいりたいと考えております。

また、竜巻災害の発生直後に要しました道路等の復旧や災害廃棄物等の処分等に係る経費は予備費の充用で対応しているところでございます。第2号補正の概要につきましては、企画政策部長、市民生活部長から説明をさせますので、よろしく願いいたします。

○議長（中野康子君）

企画政策部長。

○企画政策部長（辻村浩之君）

それでは、補正予算第2号の説明をさせていただきますので、資料の5をお開きください。11日の総務建設委員会で予備費の説明をさせていただきましたけど、今回の補正につきましては、予備費での対応以外に、緊急的に対応しなければならない予算の確保が必要となりましたので、説明をさせていただき、本日付けで専決処分を行いまして、迅速に対応してまいりたいと考えております。

まず、1の予算額ですが、補正額は1億3,871万8,000円を増額しまして、補正後の予算額を194億6,616万5,000円とするものでございます。

2の概要ですが、先に（2）の歳出を説明いたします。環境衛生費は災害廃棄物の処理経費でありますけど、内容につきましては、私の説明の後、市民生活部長より補足の説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

次の災害対策費は、被災地区にブルーシートを配布したため、その補填をするものでございます。

次の予備費でございますけど、今回の災害対応で予備費を充用いたしましたので、今後の不測の事態に備え、充用前の予算額に戻すものでございます。

次に、（1）の歳入ですが、県支出金は、ブルーシート購入に係る県の交付金です。そして、今回の災害廃棄物の処理費用につきましては、補助率が2分の1で、補助残の80%が特別交付税で措置されるという環境省の災害等廃棄物処理事業費補助金が該当するとされておりますが、12月頃に国の査定が行われ、その後、補助額が決定するというところでございます。そのため、現時点では財政調整基金の取崩しで対応をしておきまして、補助額が決まったところで財源充当をしたいと考えております。

以上で私からの説明は終わります。続いて、市民生活部長より説明をさせていただきます。

○議長（中野康子君）

市民生活部長。

○市民生活部長（山本喜直君）

補足の説明をさせていただきます。

同じく、資料5の（2）歳出の項目、環境衛生費（竜巻等災害災害廃棄物処理業務委託）の内容を説明させていただきます。

今回の竜巻等災害では、建物の損壊などにより、大量の災害廃棄物が発生しましたが、その運搬処分について業務委託を行うための経費の計上です。これまでの災害廃棄物の処理については予備費で対応させていただいておりますが、今後も倒壊した建物の廃材等が集積場に搬入され、その量を建物等の被害棟数と、一棟当たりの排出量推計値から計算しますと、2,300トン程度が見込まれているところでございます。集積場に集められました災害廃棄物は市が処分を行わなければならないものであるため、その運搬処分に係る業務委託料として見込まれる廃棄物処理量に災害時の標準的な処理単価をかけた額として1億1,867万円を計上させていただいております。

説明は以上です。

○議長（中野康子君）

この件につきましては、質問を受けていただけるそうです。よろしく願いいたします。ご質問のある方はどうぞ。

よろしいでしょうか。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

これ、専決処分ですよね。ということは、6月議会で上がってくるということですよ。ここで受けてしまうと事前審議になっちゃうのかなと思って。どうなんですかね。

もともと、議案第39号で6月あれして、それがまたタイトル変わりますよね。承認になるんですかね。

○議長（中野康子君）

提案説明ということでやりたいと思いますので。

企画政策部長。

○企画政策部長（辻村浩之君）

今回、至急にやりたいということで専決処分をさせていただきますけど、6月の定例会では承認ということで議案を提出させていただきます。

以上でございます。

○議長（中野康子君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

細かいことで申し訳ないんですけど、そうすると、まず議運を開いて、今日配付する議案の案とかを変えておかないとまずかったのかなと、今思ったんですけど、その辺は全然手続的には問

題なかったですか。

○議長（中野康子君）

もう一度おっしゃってください。

○5番（平口朋彦君）

要するに、事前に議運で提出議案の内容を総務部からお話をいただいて、それで諮っていますよね、毎回。それなので、それが専決に代わる、本来は普通の通常の出し方をするのを専決処分に第2号補正が変わるんだったら、議運に諮っておくべきだったのかなと。細かい話で申し訳ないんですけど、その辺は手続として大丈夫だったのかなと。

○議長（中野康子君）

総務部長。

○総務部長（大石光良君）

今の件についてでありますけれども、今こちらのほうの予定としては、24日に議運で説明をさせていただくということで、予定をさせていただいております。

以上です。

○議長（中野康子君）

そのほかよろしいでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

それでは、この件につきましては終わります。

○市長（杉本基久雄君）

次に、5月10日の月曜日から7月30日、金曜日までの期間で受付をしております、牧之原市竜巻等の義援金の受付状況でございますけれども、これまでに121件、453万5,974円が5月14日現在、義援金として寄せられているということでございます。

今後も引き続き、ライオンズクラブ等からも義援金を寄せていただける旨の報告をいただいておりますが、これにつきましては、被災された皆さんのところに配分委員会を設けまして、最終的には被災者にお渡しするものでございます。

そして、5月7日、金曜日から12月31日の金曜日まで募っておりますふるさと納税の災害支援金による寄附の状況でございますけれども、これにつきましては75件、111万4,000円を5月14日までに寄附をいただいているという状況でございます。

それから資料の中にもございます、資料付いてないのかな、竜巻等の被災に係わる各市からの対応状況についてという資料、議会の皆さんについているのかな、議会の皆さんのとこに付いてないな。

それでは、すみません、資料はついておりませんので、私のほうから口頭で説明をさせていただきますが、今回のこの被災に関しまして、周辺市町あるいは友好都市等からお見舞いのお電話等をいただきましたので、報告をさせていただきます。

まず、友好都市といたしましては、青森県三戸町、そして熊本県の人吉市からいただきました。そして、災害協定等に基づく関係からは、千葉県の上野市、それから山梨県の昭和町、それから山梨県南部町からもお見舞いのお電話をいただいております。

それから、周辺市町からは御前崎市、菊川市、島田市、藤枝市、焼津市、静岡市からお見舞い等のお電話をいただきました。

そのほかにも、いろんな各種団体の皆さんから、関係者からもお見舞いをいただいております。

先週金曜日でございますが、お茶親善大使の橋幸夫さんから、早期復興復旧に向けてのビデオメッセージをいただきましたので、ただいま地域活性化センターのホームページで、そのビデオを掲載しておりますけれども、市のホームページにおいても、本日掲載させていただいて、多くの市民の皆さんに橋さんの支援メッセージをごらんいただきたいというふうに思っております。

この趣旨といたしましては、橋さんとしては、何か牧之原市の被災された皆さんにできることはないかというようなことでお話をいただきましたが、そうした中で茶太郎募金というのを、今現在、橋さんの60周年記念コンサートを全国で行っているという中で、茶太郎募金という形で募金活動をやっていただけるということで、お話を伺いました。

それから、橋さん自ら牧之原市のふるさと納税を行っていただきましたので、この件についても報告をさせていただきます。

それでは次に、新型コロナウイルス感染症の静岡県警戒レベルの引上げについてということで、資料6をごらんいただきたいというふうに思います。

県は、先週14日の金曜日に新型コロナウイルス県内感染状況を警戒レベル4（県内警戒、県外警戒）から、警戒レベル5の特別警戒に引き上げをいたしました。

これは、国の感染警戒区分、ステージ3の感染者急増に当たるものでございまして、県は県民に対しまして、全ての都道府県を対象にした、不要不急の移動自粛を呼びかけております。

この県の警戒レベルなどの引上げに伴いまして、市では5月14日、金曜日、17時半から対策本部会議を開催いたしまして、情報共有及び今後の対策等につきまして協議を行いました。

私からは、感染防止対策の徹底などを市民へ呼びかける市長メッセージを発出し、3密の三つの条件がそろう場面はもちろん、たとえ1密であっても感染リスクがあるという意識を持ち、市民の皆さんがそれぞれ感染リスクが高い行動の回避をこれまで以上に徹底するとともに、最大限の感染対策を行っていただくよう、お願いしたところでございます。

県内警戒レベル5の状況につきましては、今年1月以来、約4か月ぶりとなりますが、この感染の急拡大は大型連休中、人の流れが増加したことと、感染力が強い変異株が影響しているものと見られまして、今年2年ぶりの開設を決定いたしました静波海岸、さがらサンビーチの海水浴の運営につきましても、ウィズコロナに正しく向き合いまして、慎重な判断が必要であると考えております。

海水浴場開設に関わる今後の対応につきまして、先日委員会で報告させていただきましたけれども、再度フェーズが上がったことから、産業経済部から説明をさせますので、よろしくお願

をいたします。

○議長（中野康子君）

部付課長。

○産業経済部付課長（松坂正年君）

海水浴場の開設についてでございます。資料のほうはございませんので、ご承知おきください。先週5月11日、総務建設委員会のほうで海水浴場の開設につきまして、ご説明させていただきましたが、県のレベルが5に引き上げられたということから、補足説明をさせていただきます。

海水浴場の開設は7月16日となっております、直ちに中止ではなく、国や県の行動基準や対応策に合わせた対応策を講じるよう、近々海の家経営者や県のライフセービング協会など、海水浴場運営委員会の分科会を開きまして、今後の感染動向を見ながら安全対策等の対応策を考えてまいって、準備のほうを進めたいと考えております。

説明のほうは以上となります。

○議長（中野康子君）

説明が終わりました。ご質問のある方はどうぞ。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

今回、県の警戒レベルが引き上げられたということで、牧之原市では、こういった活字ではいろいろな形でホームページに載せたりして、市民にお知らせしていますけど、同報無線では流していなかったんですか、まだ。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

今回、フェーズが県レベルで5、国レベルで3に上がりましたが、今回、同報無線では流していないのが現状でございます。

焼津市などではクラスターが発生をして、相当数の患者が、陽性者が出ているということから、同報無線等を使って感染防止をうたっておりますが、本市においては感染状況等も踏まえまして、同報無線は最後の手段といっは何ですが、今回は自重をしたところでございます。

○議長（中野康子君）

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

昨日、晩、御前崎にいましたら同報無線が流れていて、何かなと思って聞いていたら、やはり丁寧にこのこと、それと、もしもの時には、やはり相手のことを思いやってということも付け加えてお話しておりましたけれども、なかなか活字だけだと読まない方もおるし、市民への喚起という意味では、一定のやはり効果というのはあるかなと思いますので、またぜひともご検討のほうをお願いしたいなと思います。

○議長（中野康子君）

市長。

○市長（杉本基久雄君）

今後も、引き続き市内の感染状況を注視することはもちろんですが、今回フェーズも上げられたということもございますので、市民の皆さんも新聞、テレビ等の情報は入っているかとは思いますが、今、太田議員のご指摘のとおり、同報無線というツールもございますので、今後、対策本部会議において、しっかりと検討させていただきたいと思っておりますし、あと、予約の関係ですね、ワクチンの予約の関係についても、皆さん興味がおありだというふうに思っておりますので、この辺についても、今後考えていきたいと思っております。

○議長（中野康子君）

ほかにご質問のある方はどうぞ。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

それでは、この件につきまして、終わります。ありがとうございます。

○市長（杉本基久雄君）

それでは、引き続き説明をさせていただきますが、今回のこのフェーズのアップということに関しましては、14日に更新をいたしました、牧之原市新しい生活様式のガイドライン、そして静岡県のホームページの静岡県新型コロナウイルス警戒レベルを添付いたしましたので、後ほどご確認をいただきたいと思っております。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種の予約状況についてでございます。5月3日の祝日から開始をいたしました一般高齢者の1回目の接種予約状況については、5月14日、金曜日16時現在で予約者数は1万234人、接種率を8割と想定した、1万1,094人を母数といたしました予約率は92.2%という状況でございます。非常に市民の皆さんのワクチン接種に対する関心が高いというのが如実に出てきているというふうに思っております。

そして、以下、表に出ておりますように、予約状況を掲載させていただいているところであります。これにつきましては、先ほども申しましたように、予約率は、想定80%に対する予約率は92.2%ということでありまして。

一方、ちょっと数字に出ておりませんので口頭で付け加えますが、ここがございます、Aですね。高齢者数A、1万4,800人に対しまして現在の予約者数1万234人と、施設入所者Bですね、932人を合わせた、これは見込み、いわゆる8割の見込みではなくて、全部の対象者をこれまでの予約と高齢者入所施設を入れた分でいきますと、75.4%の予約と申しますか、済んだ方もいらっしゃるんですが、75.4%。そして、一般高齢者のCの1万3,868人に対しまして、1万234人の予約率に関しましては、73.8%ということでありまして。

そして、接種につきましては、本日から一般高齢者への個別接種、集団接種を開始していると

ころでございます。

まず、新聞、テレビ等で、今話題となっておりますが、接種を進めていく上で、キャンセルなどによりまして余ったワクチンへの対応につきましては、ワクチンの廃棄を防ぐために、それぞれの実施機関において、国の接種優先順位によりまして、事前にキャンセル対策のリストを作成いたしまして対応を行うこととしております。

まず、その考え方でございますが、まずは予防接種従事者の中から順に接種することとして、集団接種会場等で予防接種業務に従事する市の保健師、看護師、集団接種で雇用する在宅看護師、次いでその他の従事職員の順として、キャンセルされたワクチンの接種を行っていきいたいというふうに考えているところでございます。

そして、施設入所者への巡回接種では、65歳以上の施設従事者、次いで64歳以下の施設従事者といたしまして、個別接種では通院されている方の中から、基本高齢者を対象としてキャンセル対応リストを作成して運用をしていくということで計画しておりますので、ご留意いただきたいというふうに思います。

国の方針に基づく柔軟な対応を徹底いたしまして、ワクチンを無駄にすることのないよう、接種に努めてまいりる考え方でございます。

そして、この一般高齢者の接種計画につきましては、国でワクチンの必要量が確保されることから、実施期間の8月8日の日曜日をめぐり、高齢者の8割の方が終了するという見込みで、既に実施期間までの予約が入っている状況でございます。

このような状況の中で、国は2回目の接種終了を7月末に前倒しすることを求めておりますが、現状では、その分増加いたします件数に対応する医師、看護師などの訪問やワクチンの打ち手の確保、密にならない会場の確保、その他予防接種業務に従事するスタッフの確保などを考慮すれば、自治体単体の実施体制確保は困難でございます。また、既に予約が済んでいる市民の予約日の変更を行うことは、混乱を招くということがございますので、現状ではこれを変更してまで、7月末ということに対応は今現状ではできないということでもあります。

まず、牧之原市といたしましては、安全に接種を受けられる体制の維持を最優先に柔軟な対応をしてまいりたいというふうに考えております。

ということから、今現在、先ほど申しました、8割を想定したものに関しては、何とか100%の予約率になるように努めているところでございますが、これ以上、例えば先ほど申しましたように、高齢者数Aの1万4,800人あるいは施設入所者Bを除いたCの1万3,868人の、例えば9割とか95%の方が接種を希望するということであれば、現在8月8日までということではありますが、それを後ろへ送っていくと、先送りをするという対応しか、現状ではないということでございます。

そうした中で、明日は知事のほうから中部地域の市長、首長と臨時の中部地域サミットがWebで開催されまして、新型コロナウイルスワクチン接種の加速化をテーマに意見交換を行います。ワクチン接種を進める上で課題について、私の考え方を申し伝えたいというふうに考えていると

ころでございます。

この件につきましては、様々な報道がされておまして、一つには今、国が言っている7月末までの高齢者接種を終わらなさいというのは、限りなく国が言っているのは、先ほども私が申しました、この高齢者全員ですね、Aが全部終わるのを7月末までというふうに言っているわけですね。我々とする、ここは先ほど申しましたように、もともと非常に厳しいという状況でありますので、8割という予約率を見込んだ中で8月8日という数字を出しております。ですから、この数字においては、全国市町の考え方がそれぞれ違うというところを、まずご認識をいただきたいと思っております。市町においては、その目標数値を、当初、国・県は7割程度というふうに見込んでおりました。ところが、私どもも蓋をあけてみますと、8割近い方が接種要望をしているというのが分かっておりますので、この辺はやはり、国のほうの見識とか県の見識が若干当初とは違ったなということがございますけれども、そもそも、その分母が決まっていないうちで7月末とかというのが、今議論されているというのを一つご認識をいただきたいというのが、一つございます。

そしてもう一つは、新聞紙上等で静岡県のこの7月末までの接種完了が見込めない。見込める市町村が六十数%という数字が出ておまして、全国で後ろから2番目と、ワースト2だということが報じられております。この件について、私も少し調べさせてもらったんですが、もともと、やっぱりマンパワーなんです、これ。静岡県の人口10万人当たりの医師数というのは、これは平成30年のデータでございますが、220人なんです。これというのは、全国で47都道府県中44番目なんです。ということで、静岡県自身のドクターの数が少ないという状況がございます。

それから、もう一つは、志太榛原地域のこの人口10万人当たりの医師数は150人です。そして、さらにこの榛南地域における、吉田、牧之原の医師数は80人ということになります。

ということから、全国平均からすると、3分の1のマンパワーの中で同じ土俵の中で7月末までに、国あるいは県はワクチン接種を終われということが叫ばれているわけでございます。

そういう中で、我々健康推進部の職員が一丸となってこの市内の開業の先生、あるいは榛原総合病院の先生方に、本当に何度も何度も足しげく通って、医師数が満足にるところからしますと、現在この地域の先生方に関しては3倍のお仕事をしていただいているという状況でございますので、私とすると、さらにこれを上乗せして不眠不休で対応いただくというのは、やはり今度は医師が疲弊するし、残りの64歳未満の方の接種もこれから始まるという中で、全力疾走でいくと、ここで絶えてしまうということの危惧のほうは、私は恐ろしいと思っておりますので、先ほど申しましたように、仮に8割以上の申込みがあるということで、接種できない方がいらっしゃるとすれば、そこは8月以降も高齢者の受付を優先していくということを考えている次第であります。

そして、県知事との会議においては、とにかくその前倒しをということであるならば、国・県から医師を、マンパワーを派遣していただいて、その体制を整えていただくということを要望するしかないというふうに考えているところがございますので、ご認識をいただければというふうに思います。ご理解をいただければというふうに思います。

私からは以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（中野康子君）

市長報告が終わりましたが、ご質問のある方は、挙手をお願いいたします。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

今し方のワクチン接種の予約状況についての中で、キャンセル対策リストを作成するというところでご説明がありました。その考え方という、中黒のところにある、次いでその他従事職員というのは、市の職員さんだとは思いますが、それ以外にも、このリストのトップに市保健師さんが掲げられております。

この市保健師さんとその他従事職員、市の職員さんで、延べではなくて、実質人数として、どれぐらいの方がこの予防接種に当たられるのか、その辺りはどんな感じでしょうか。

○議長（中野康子君）

健康推進課長。

○健康推進課長（河原瑞穂君）

一回当たり、1会場で従事をする職員、スタッフというのは、医師、看護師も含めまして、大体30人ぐらいおります。その中で、医療従事者として接種をされた方もいらっしゃいますが、その方も含めると、延べ4,650の方が会場に来るといようなこととなりますので、その方たちの接種を優先するというところでございますが、その中にはまだ事務職員もおりますので、順にそのリストを今、作っている最中です。

それと、この接種については全員が打つということではなくて、同意をするというか、希望をするというか、そういうことがございますので、この数よりも大分減ることになりますが、ざっくりとおおよその人数は4,650人ということになります。

○議長（中野康子君）

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

優先順位の考え方って非常に難しいとは思いますが、イメージとしてですけど、市民皆さんからすると、やはり顔なじみの市保健師さん、まずは地区担の保健師さんがいると、どうしても話を聞くのは保健師さんに話しやすいし、その次に市職員、よく窓口で見る市職員がいれば市職員に話しかけるということが、やはり往々にしてあると思うんですね。

そう思うと、感染リスクとしては、看護師さんとかもちろんそうなんですけれども、対面で近くで、テーブルを挟まずに近くでしゃべる可能性のある市職員さんや保健師さんのほうが、むしろ感染リスク高いのかなと思うので、ちょっとやはり、何が正解か分からないですけどね、その辺はちょっと考慮する必要があるのかなと、ちょっとこの説明を聞いて思いました。

○議長（中野康子君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

いろいろご心配いただきまして、ありがとうございます。

ただ、医師が予防接種を、注射を打つということだけではなくて、看護師が直接高齢者の方に触れて接種する機会も多くなりますので、看護師も優先順位は高いかなというふうに思っています。

あとは、やはり書類の書き方も分からないとか、高齢者の方も耳がちょっと遠かったりするので、近づいて話をする事務職も、やはりそういった意味では、かなり距離が近くなるかなということをお考えまして、できるだけ何か職種に偏らずに、希望がある従事する方には接種の機会ということ、ちょっと配慮は必要かなというふうにはこちらも考えております。

また、ご意見を参考にして、進めていきたいと考えます。

○議長（中野康子君）

そのほかに、ご質問のある方はありますか。

鈴木長馬議員。

○1番（鈴木長馬君）

高齢者の方が予約が92.2%、1万234人ということですが、これで今回的高齢者の中で外れた方ですが、例えば一般の方の受け付ける期間は、その外れる方も受け付けてくれるようになるのでしょうか。その辺をお伺いしたいと思います。

○議長（中野康子君）

健康推進部長。

○健康推進部長（鈴木郁美君）

一応、第一回目を打つ予定の7月18日のぎりぎりまでは、高齢者の方の受付は引き続きしていく予定なんですけれども、先ほど市長が申しましたように、国、県との兼ね合いで、どこまで後ろに日程を伸ばせるかということがちょっと今、懸念があります。そういう中で、また8月の途中から次の優先順位の基礎疾患の方ですとか、施設の従事者の方の予約を受け付ける際には、まだ受け終わっていない高齢者の方がいましたら、同じように優先的に受付をするということは、配慮が必要かなというふうには、今考えております。

○議長（中野康子君）

そのほかには、ご質問はいかがですか。

よろしいでしょうか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

それでは、市長報告のほうを終わらせていただきます。ありがとうございました。

3 議長・関係議員・委員会報告 (1) 会議等の結果

○議長（中野康子君）

それでは、続きまして、議長・関係議員の委員会報告のほうに移らせていただきます。

まず、私のほうから、4月22日、第104回東海市議会議長会定期総会が書面決議でありましたので、これは送らせていただいております。

それから、5月11日、令和3年5月1日牧之原市竜巻等災害に関する要望を農林水産省とのオンラインで行いました。農業共済につきまして、非常に入っている方が全部、農業共済に入っているかといいますと、農業共済に入れる人はごく一部でございまして、非常に厳しい中で今回の被害に遭っておりますので、そういった農業共済にも救われない方たちへの対応を、ぜひお願いいたしたいというお願いを、私のほうからはさせていただきます。

それから、5月12日、令和3年5月1日牧之原市竜巻等災害に関する要望を、環境省の副大臣とのオンラインでの要望活動をいたしました。これは市長のほうで、瓦礫に関する要望を力強くお願いをいたしました次第でございます。

それから、5月14日、令和3年5月1日牧之原市竜巻等災害に関する要望を県知事及び県の関係部局に、副議長と私と、それから議会事務局長、それから市の関係部局の人たちと要望に行かせていただきました。

以上でございます。

そのほかの方、お願いいたします。

太田議員。

○13番（太田佳晴君）

4月16日に3月分の例月現金出納検査を行いましたけれども、適正に処理されていることを確認いたしました。

以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございます。

村田議員。

○9番（村田博英君）

4月26日、9時から榛原総合病院の出納検査を実施いたしました。例月のとおり、一般会計、病院事業会計、それから基金、預金等の残高、現金出納の状況を検査いたしましたが、特に問題はございません。

以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

そのほかに。

〔「なし」と言う者あり〕

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

3 議長・関係議員・委員会報告 (2) 議会運営委員会

○議長（中野康子君）

それでは次に、議会運営委員会のほうから、ご報告をお願いいたします。

鈴木千津子議員。

○12番（鈴木千津子君）

それでは、議会運営委員会の報告をいたします。5月6日に議運を開きました。6月定例会についてですが、皆様のところには資料がありますので、ぜひ見ていただきたいんですけども、今回、先ほどの説明の中にもありました専決処分等加わるようですが、今回は私たちが受けた中にはありませんでしたので、報告の第2号、第3号、そして諮問第1号から第33号までは6月定例会の2日目、6月10日の議決となります。そこら辺、よろしくお願ひしたいと思います。

そして、令和3年度視察研修について。このことにつきましては、前回はやりました。そして、今朝も議運を開きまして、今回の8月の熊本県人吉市の視察研修についてということですが、先ほど市長のご報告にもありましたとおり、熊本のほうにつきましては、まん延防止措置、熊本のほうにも出ておりますし、そして静岡県の警戒のレベルも5ということで上がったということから、今回の当初8月を予定しておりました熊本県人吉市等への視察研修は見送るという方向に、議運としては方向づけをいたしました。

それから、ウの議会報告会についてです。

これも、皆さんのところに資料がいくつかあります。ぜひ見ていただきたいんですけども、日程等も示されております。今回は、議会報告会はWebでということで動画の配信になりますが、7月1日から配信したいということで、議運のほうとしては決まりました。そして、これにつきましては、6月の市の行政報告会の中で正副議長が、この7月1日からということで、皆さんのところに行っております、配信のPRをいたしますので、ぜひとも1日から配信できるよう、それぞれの常任委員会においては、ご協力のほうよろしくお願ひしたいと思います。

そして、エです。牧之原市議会の議員の欠席時における議員報酬等の特例に関する条例についてということがありましたので、議運のほうとしては内容の確認をいたしました。

簡単ですが、以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

3 議長・関係議員・委員会報告 (3) 総務建設委員会

○議長（中野康子君）

それでは、総務建設委員長、お願いいたします。

○5番（平口朋彦君）

総務建設委員会、4月20日に開催をいたしました。任期ももう残り僅かということで、政策提

言に向けての盛り込んでいきたい視点の検討等をいたしました。

また、ちょっとこの場をお借りしてのご報告で申し訳ないんですけども、来週月曜日、5月24日に議案配付に伴います合同常任委員会がございます。その後に、総務建設委員会を予定しておりますので、この場での報告で申し訳ございませんが、ご承知おきください。

午前中までで時間を有効活用したいと思っていますので、よろしくお願いします。

以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

3 議長・関係議員・委員会報告（4） 文教厚生委員会

○議長（中野康子君）

次、文教厚生委員会委員長、お願いします。

藤野議員。

○6番（藤野 守君）

5月12日、文教厚生委員会の常任委員会を開催いたしました。現在の委員会のテーマですが、環境保全についての取組、環境保全に向けての取組、この協議、引き続き協議、議論をいたしました。今回の委員会での議論により、テーマに関しては一応終結としたいと、そういう考えであります。

それから、学校再編成についての議論の進め方、3月末に答申ができておりますが、それについてどういう対応をしていくか、協議・議論していくか、それについて協議いたしました。

これについては、まだ途中であります、もう少しこの辺は委員会で協議していきたいというふうに思います。

あとは、議会報告会について触れております。

以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

3 議長・関係議員・委員会報告（5） 議会広報特別委員会

○議長（中野康子君）

議会広報特別委員会、お願いいたします。

○2番（濱崎一輝君）

4月19日、27日に委員会のほうを開催いたしました。議会だよりの編集作業を行いましたけれども、今回の議会だよりの発行に当たりまして、原稿をご提出いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

3 議長・関係議員・委員会報告 (6) 議会改革特別委員会

○議長(中野康子君)

議会改革特別委員会、お願いいたします。

○15番(大井俊彦君)

作業を引き続き行っていただいておりますけれども、全体会ですけれども、ちょっと延び延びになってしまったけれども、6月25日の全協終了後に、議会改革特別委員会の全体会を開いて、各班から作業状況について報告をお願いしたいと思います。B班とC班でございます。

以上です。

3 議長・関係議員・委員会報告 (7) 政策立案推進部会

○議長(中野康子君)

次、政策立案推進部会、お願いいたします。

○13番(太田佳晴君)

ワーキンググループ1では、引き続き条例制定に向けて取り組んでいるところですが、本日全員協議会終了後に、全体の部会を開催するよう、予定しております。

以上です。

○議長(中野康子君)

ありがとうございました。

3 議長・関係議員・委員会報告 (8) ICT推進作業部会

○議長(中野康子君)

ICT推進作業部会、お願いいたします。

○2番(濱崎一輝君)

皆さんには、ゴールデンウィーク中にタブレット操作に関するアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。それに基づいて、4月19日に部会のほうを開きましたけれども、全てのアンケート内容、これに関して話し合はできておりませんが、まずは最低限というところで、タブレット講習会について、まずこれを行うということになりました。

日程につきましては、6月1日、本会議終了後に行います。こちらなんですけれども、全員ではなくて、希望者のみという形になりますので、内容といたしましては、最低限、タブレットが使えるようにということの操作になりますので、初級編という形になりますけれども、なかなかタブレットが思うように使いこなせていないという方に関しましては、ぜひ参加していただければと思います。

詳細につきましては、後日、事務局より、LINE WORKSよりご案内をさせていただきます。

ますので、よろしくお願ひいたします。

以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

4 協議事項（1）令和3年度視察研修について

○議長（中野康子君）

それでは、4番の協議事項でございますけれども、令和3年度の視察研修につきましてですけれども、先ほど議運の委員長からお話ございましたように、熊本県にも大変なコロナの感染者が増えているということでございまして、事務局のほうで確認していただきましたら、牧之原市はいろんな意味でお世話になっているし友好都市であるので引き受けてくださるというお話はいただいておりますが、ここへ参りまして、静岡県でもレベルが上がっておりますし、他県への交流もなるべく自粛をしていただきたいというようなことがございましたので、今回はこの人吉市の訪問は、視察研修は断念させていただくという形にさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひをいたします。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

5 その他

○議長（中野康子君）

それでは、その他で何かありましたら。

平口議員。

○5番（平口朋彦君）

先ほどもちらっと触れましたが、来週24日、月曜日に常任委員会合同協議会、6月定例会についての議案配付がございます。9時半からになりますので、ご承知おきください。

24日、25日と日程表には入っていますが、案件も絞られていまして、説明時間も、それぞれ短いということで、文教厚生委員長とお話をしまして、一日で、24日、一日9時半から開催しますので、皆さん、ご承知おきください。

以上です。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

そのほか、事務局のほう。

次長、お願ひします。

○事務局次長（本杉裕之君）

事務局からですけれども、今回の竜巻につきまして、人吉市の議会のほうから電報のほう届い

ていますので、読ませていただきます。

このたびの竜巻により甚大な被害を受けられた牧之原市並びに市民の皆様にご心からお見舞いを申し上げます。全市を挙げて懸命に災害復旧に取り組まれる皆様方のご心労は大変なものがあるものと、お察し申し上げます。一日も早い市民生活の安泰と復興が成りますよう、衷心よりお祈り申し上げます。

人吉市議会議長、西信八郎さんからいただいております。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

人吉市のほうから、このような電報をいただいたということで、ご紹介をさせていただきました。

事務局次長。

○事務局次長（本杉裕之君）

あと、資料のほうに5月、6月の議会予定表のほうをつけさせてもらっています。金曜日時点の最新のものに変えてありますけれども、コロナの関係で会議等、中止になったり書面会議になったりしていますので、赤字になっているものが変更になっているものとなります。5月、6月分になります。

それと、毎回全協の次につけさせてもらっています、議員通知の3連もつけてありますので、先ほど平口議員からもお話ありましたけれども、5月24日の議運、5月24日、25日の常任委員会合同協議会、6月25日の議員全員協議会等の招集について通知がついています。よろしくお願ひします。

○議長（中野康子君）

ありがとうございました。

皆様、それでは本日の議員全員協議会を終了させていただきます。ご苦勞さまでございました。

[午前 9時54分 閉会]